

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
ジェンダー論	松田 いりあ	講義	2		2	1,4	3
授業概要 授業目的	この授業では、ジェンダーに関わる私たちの一般的な認識が、一定の歴史的社会的条件下で定着したものであること、またその認識が世代を越えて伝えられる仕組みを、国内外の事例とともに解説する。 授業は基本的に講義形式で行う。随時授業内課題を実施し、提出された課題をもとに受講生とともに考える機会を設ける。						
到達目標	この授業では、受講生が現在のジェンダーをめぐる課題を理解するだけでなく、社会生活全般においてジェンダーに関心を持つことが目標になる。						
回	学習内容						
1	はじめに：この授業の進め方と評価方法の説明						
2	ジェンダーとは						
3	セクシュアリティとは						
4	ジェンダーの社会化						
5	ジェンダーと子育て						
6	ジェンダーと教育						
7	パートナーシップとジェンダー、セクシュアリティ						
8	労働市場とジェンダー						
9	貧困とジェンダー						
10	アンペイド・ワーク						
11	メディアとジェンダー						
12	サブカルチャーとジェンダー						
13	身体とジェンダー						
14	空間とジェンダー						
15	まとめ：この授業の総括						
予習内容 復習内容	予習：前回の授業内容の確認。 復習：授業資料や参考文献を参照して、学習内容の理解を深める。						
教科書	テキストは使用しない。参考文献は講義中に伝える。						
成績評価	授業内課題 50%、レポート 50%。 全 15 回のうち 10 回以上の出席者が成績評価の対象となる。						
実務経験							
その他 特記事項							